

完成！津別町木質ペレット工場
エコな暖房エネルギーの生産工場が本格稼働

林地や製材所の残材を利用して作られる木質ペレットの製造工場の竣工式と起動手が12月1日、関係者約80人が出席し開催されました。佐藤津別町長、武田綱走支庁長、高崎綱走南部森林管理署長、関根綱走東部森づくりセンター所長、鹿中津別町議会議長により起動手が押され本格的に木質ペレットの生産が始まりました。

「バイオマスタウン構想事業」の一環で整備が進められてきた、役場、中央公民館、温水プール、特別養護老人ホームに設置された、木質ボイラーの燃料として供給されます。

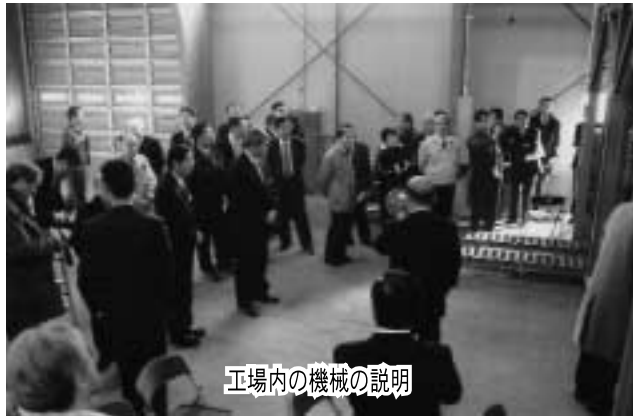
管理運営は町内外の木工、建設会社など2団体13事業所により設立された「津別町ペレット協同組合（山上裕靖理事長）」が行っていきます。木質ペレットは燃焼時に不

燃材をあまり出さず、二酸化炭素も排出しないため、近年の地球に優しい暖房エネルギーとして関心が高まっています。同施設では平成21年度の3月までに350トン、平成22年度からは年間900トンの生産を行い、600トンは公共施設、200トンは一般住宅、残りの100トンは工場燃料として使用されます。

12月5日、6日には同施設の見学会とペレットストーブの展示も行われ、2日間で町内外から112人の方が訪れ、興味深く工場内を観察していました。



木質ペレット製造機械の起動スイッチが押されました



工場内の機械の説明



展示されたペレットストーブ

津別町地上デジタル基局開局記念
「つくってあそぼ」が津別で公演！



2階席まで埋まるほど親子が訪れました

現在も多くの子供たちが視聴しているNHK教育テレビ「つくってあそぼ」に出演しているワクワクさん、ゴロリ、うたのおねえさんが津別町地上デジタル基局開局記念として、12月13日に中央公民館で公演が行われました。会場には町内外から親子約450人が参加しました。初めに簡単なテレビの歴史を工作を使って紹介。その後、うたのおねえさんと「おもちゃのチャチャチャ」や「アイアイ」、「輪になっておどろろろ」などを一緒に歌ったり踊ったりしました。

ワクワクさんの工作コーナーでは牛乳パックを使って「けん玉」や「羽子板」を作製し、会場の子供との交流も行われました。その後、ゴロリも交えてポリ袋を使用したビーチボールの風船を作製。風船割りや色違いのポリ袋をつなぎ合わせた巨大風船を会場に投げ込みゲームを行いました。

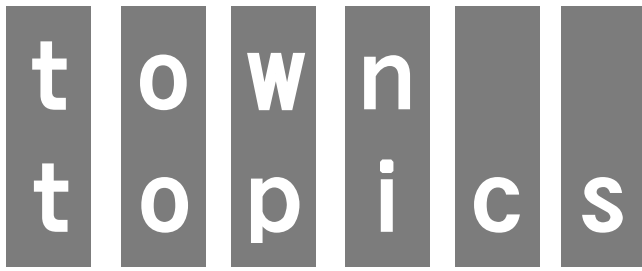
「農業技術の匠」
有機栽培・飼料作物生産体系確立

12月16日、津別町農業協同組合3階会議室で、平成21年度「農業技術の匠」選定証交付式が開催され、網走農業改良普及センター 雨海 透所長から、津別町有機酪農研究会（山田照夫会長）に選定証が交付されました。

「農業技術の匠」とは、地域における広範な利用や高品質・高収量などの、高い導入効果が期待される技術を農業現場での生産活動の実践を通じて、自ら生み出した農業者の方々です。平成21年度は全国で14人（1グループ）が、「農業技術の匠」として選定されました。



津別町有機酪農研究会の皆さんおめでとうございます。



まちのわだい

歌やダンス、合唱を楽しむ
老人クラブ連日公演芸交流会



11月24日、中央公民館で老人クラブ連日公演芸交流会（自治会連合会主催）が行われました。初めに山本峯雄老人クラブ連合会長の挨拶、津別町長の感謝状の贈呈と津別町老人クラブ連合会長の表彰の後、美幌警察署による劇団「おまわり」による公演が行われました。「振り込み詐欺防止」をテーマに、「一度ならず二度振り込み詐欺に遭っていた人もいるので注意してください」と注意を促しました。芸交流会ではカラオケや舞踊、ダンスなど30プログラムに約80人が楽しい時間を過ごしました。

癒しの旅に大切な

「おもてなしの心で迎える」

12月8日、津別町中央公民館で、観光人材育成セミナー（津別町地域再生プロジェクト推進協議会主催）が、STVアナウンサーとして入社し、独立後は、キャスター、慶應義塾大学大学院SDM研究科教授の林美香子さんを講師に「おもてなしの心で迎える」をテーマに、開催され、その中で、全国の事例をあげて、おもてなしとは「相手の気持ち」を第一に考える心であると話されていました。



学びました。

町内で加工された食材の試食も行われ、参加者は、癒しの旅に大切な「おもてなしの心」を学びました。

森林づくりコンクール
カラマツの部・最優秀賞を受賞



12月2日、上里の中山行雄さんが、森林の適切な管理、育成により地球温暖化防止対策に大きく貢献する森林づくりに取り組んでいる森林所有者に贈られる「平成21年度ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール」のカラマツの部門で、「最優秀賞」に輝き、町長室で北海道網走東部森づくりセンター・関根所長より賞状が伝達されました。

「コンクールを意識して、きれいな山づくり、手入れをしたわけではないですが、大変うれしかったです」と感想を話されました。受賞おめでとうございます。

12月6日、中央公民館で第14回目の図書室まつりが行われました。新書や文庫本、専門雑誌やCDなどを格安で販売している古本市には、多くの読書家が集まり10円から100円で販売されている還元品を数十点購入する人も多く見られました。

これにあわせて、図書室クイズやクレヨンカンパニーによる人形劇や影絵、オリジナルの「しおり」の作製を行う「手づくり教室」、小さい子どもが多く参加し、いろいろなおにぎり作りに挑戦した「おりょうり教室」などが行われ、館内は多くの人出でにぎわっていました。

ほりだしものがいっぱい
図書室まつりに多くの人出

